

## 基本政策Ⅱ 学ぶ意欲を育て、「生きる力」を伸ばす

### 政策 目標

子どもたちの学ぶ意欲を高め、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな心身」をバランスよく育み、将来の予測が難しい社会を生き抜くために必要な「生きる力」を確実に身に付けることを目指します。

### 主な課題

- ①子どもたちが自ら学び、課題を見つけ、主体的に判断し、課題解決のために他者と協力する資質や能力を伸ばしていくため、学校、地域、家庭が連携した取組を進め、**「確かな学力」を育成**する必要があります。また、児童生徒の**「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善**を進めていくことが求められています。
- ②道徳教育の一環として、「心のバリアフリー」に関する理解を深めるための指導等を継続していくとともに、「かわさきパラムーブメント」が目指す「誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくり」の実現に向け、多様性を尊重する社会の担い手を育む教育を、引き続き、計画的・系統的に行っていく必要があります。
- ③現代的な健康課題等に対応し、子どもの心身の健康の保持・増進を図るとともに、児童生徒の健全な身体を育むため、**小中9年間を通じた体系的・計画的な食育**を引き続き推進していく必要があります。
- ④「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現のため、様々な形で蓄積されていくスタディ・ログを効果的に活用していくことが求められています。また、**GIGAスクール構想で整備されたICT環境をいかして、自宅等でICT端末による学習を継続することで、子どもたちの学習を保障**することが求められています。
- ⑤各学校の特色をいかした多様な学習ニーズに対応する教育活動を実施し、魅力ある市立高等学校づくりに向けた取組を推進していく必要があります。

## 主な取組成果

- ① **市学習状況調査、市学習診断テストの調査結果を活用**し、実践事例集の作成や授業改善に関わる動画の作成・配信を行いました。個票については、小学校には9月に、中学校には1月に配付し、児童生徒、保護者に学習状況を伝え、家庭学習の改善に活用しています。また、**新しい市学習状況調査に係る調査項目や実施方法、活用方法の検討について、モデル校（小学校2校、中学校1校）での研究成果をもとに取組を進める**ことができました。
- ② 人権尊重教育研究推進校3校、実践推進校2校を定め、学校での人権尊重教育推進の取組を継続したことで、具体的な人権尊重の視点に立った指導や支援の実践を通して人権尊重の学校づくりを進めることができました。また、各学校の多文化共生教育の充実に向けた情報交換の実施については、「学校でできる多文化ふれあい交流会」をオンラインで開催し、各学校の取組状況についての情報交換を行いました。
- ③ 国産品を使用した主要食材や、和風の天然だしを使った薄味で美味しい味付けの工夫、「かわさきそだち」の野菜を使用した献立の提供など、「健康給食」をコンセプトとした中学校給食を推進しました。また、小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進については、栄養教諭を中核としたネットワークを活性化し、中学校区を拠点として小・中学校をグループ化し、小・中学校、給食センター間の連携を図りました。さらに、市内小学校1校で1年間を通して**残食等を考える授業の実施や、大豆ミートを小学校給食の食材として初めて使用することによって、学校給食を通じてSDGsの取組を推進**しました。
- ④ 推進協力校13校、研究推進校1校における支援を通して、**かわさきGIGAスクール構想ステップ2の実現に向けた研究を推進**するとともに、授業公開等を通して研究成果を横展開しました。また、他部署と連携して「**かわさきGIGAスクール構想教職員向けハンドブックステップ3**」を作成しました。さらに、小・中・特別支援学校にICT支援員を計1,690回派遣しました。
- ⑤ 「川崎市立高等学校改革推進計画第2次計画」に基づき、新たな価値を生み出す豊かな創造性や、グローバル化の中で多様性を尊重する力の推進等に取り組み、魅力ある市立高等学校づくりに向けた取組を推進しました。

## 教育改革推進会議における意見内容

- ① **新しい市学習状況調査において、モデル校を通して研究を進めたが、質問紙の量が多く子どもの疲労感につながったように感じる。モデル校での取組を真摯に振り返り、多くの学校の情報を集め改善に努める必要があると思う。**
- ③ 心身一如の視点に立って、学力・体力・健康の増進のためにも、食育の観点から「確かな学力」「豊かな心」「健やかな心身」を促進していくべきと考える。
- ④ **デジタル化が進んだことによって、GIGA端末を使っている子どもたち本人が思考することをやめてしまう懸念がある。アナログとデジタルの両方を組み合わせて、子どもが自ら考え答えを導き出す教育にGIGA端末を活用してほしい。**
- ⑤ 定時制の高校では、企業を学校に呼んだ場合には今現在働いている卒業生と一緒に連れてきてくれ、企業や仕事の説明だけではなく卒業生から自立するための助言を生徒に直接してくれる。特に、定時制には課題を抱える子どもが多いので、非常に子どもたちの参考になっているので推進していくべきだ。

## 今後の取組の方向性

①令和5年度から始まる新しい市学習状況調査では、対象学年を拡充することや、I R T※を取り入れた調査方法に変更することで、経年比較、同一集団の比較等が可能となり、よりきめ細かく一人ひとりの学習状況を把握し、その結果をG I G A端末と連携することで、各学校の授業改善、児童生徒の学習改善につなげていきます。また、調査実施結果を受け、多くの学校から情報を収集したうえで業者とともによりよい実施方法を検討していきます。

※I R T（項目反応理論）：従来のテスト評価方法では困難だった「異なる問題での結果」の比較を可能にする調査理論

- ②人権尊重教育研究推進校・実践推進校の研究支援及び教職員やP T Aを対象とした研修の実施については、内容の充実を図りながら、引き続き実施していきます。また、各学校の多文化共生教育の充実に向けた実践事例報告会については、効果的な学校間の情報共有が図れるよう、手法を検討していきます。
- ③川崎らしい特色ある「健康給食」の推進については、児童生徒の健全な身体の発達に資するため、継続して「健康給食」を推進していきます。
- ④G I G Aスクール推進協力校の募集枠を拡大するとともに、国のリーディングD Xスクール事業を活用して更に取組を推進します。またI C T支援員の配置を継続して行います。
- ⑤川崎市立高等学校改革推進計画第2次計画に基づく取組については、新たな価値を生み出す豊かな創造性、グローバル化の中で多様性を尊重する力の推進をします。また、定時制生徒の将来の自立に向けて、学習支援や就労支援の充実に取り組めます。

参考指標								
指標名	指標の説明		実績値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7年度)
授業の理解度	「授業がわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合 【出典：川崎市学習状況調査】 小5：国語、算数、理科、社会の平均 中2：国語、数学、理科、社会、英語の平均	小5	90.1% (R3(2021)年度)	89.3%	－	－	－	94.0% 以上
		中2	79.6% (R3(2021)年度)	79.0%	－	－	－	82.0% 以上
授業の好感度	「学習はすき、どちらかといえばすきだ」と回答した児童生徒の割合 【出典：川崎市学習状況調査】 小5：国語、算数、理科、社会、総合の平均 中2：国語、数学、理科、社会、英語の平均	小5	75.4% (R3(2021)年度)	73.4%	－	－	－	81.0% 以上
		中2	64.8% (R3(2021)年度)	61.8%	－	－	－	67.0% 以上
授業の有用度	「授業で学んだことが、生活の中で役に立っていると思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合 【出典：川崎市学習状況調査】 小5：国語、算数、理科、社会、総合の平均 中2：国語、数学、理科、社会、英語の平均	小5	92.4% (R3(2021)年度)	91.7%	－	－	－	97.0% 以上
		中2	81.0% (R3(2021)年度)	79.8%	－	－	－	85.0% 以上
英語によるコミュニケーションへの積極性	「道で外国人に英語で話しかけられたとき、何とか英語で話そうとする」と回答した生徒の割合 【出典：川崎市学習状況調査】	中2	81.8% (R3(2021)年度)	84.5%	－	－	－	85.0% 以上
規範意識	「人が困っているときは、進んで助けている、どちらかといえば助けている」と回答した児童生徒の割合 【出典：全国学力・学習状況調査】	小6	90.5% (R3(2021)年度)	91.5%	－	－	－	91.0% 以上
		中3	90.4% (R3(2021)年度)	89.7%	－	－	－	91.0% 以上
子どもの体力の状況	体力テストの結果(神奈川県)の平均値(体力合計点)を100とした際の本市の割合 【出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査】	小5(男)	99.9% (R3(2021)年度)	100.37%	－	－	－	102% 以上
		小5(女)	99.8% (R3(2021)年度)	99.98%	－	－	－	102% 以上
		中2(男)	94.5% (R3(2021)年度)	95.76%	－	－	－	100% 以上
		中2(女)	96.3% (R3(2021)年度)	97.01%	－	－	－	100% 以上
学校給食の残食率(小学校)	残食率の高さや栄養の観点から重点5項目とする品目の残食率 【出典：川崎市教育委員会調べ】 小学校(白米、変わり飯、卵類、豆製品、藻類)	白米	6.1% (R2(2020)年度)	5.3%	－	－	－	5.46% 以下
		変わり飯	7.0% (R2(2020)年度)	5.4%	－	－	－	5.41% 以下
		卵類	7.3% (R2(2020)年度)	6.7%	－	－	－	4.50% 以下
		豆製品	7.0% (R2(2020)年度)	6.4%	－	－	－	4.95% 以下
		藻類	7.6% (R2(2020)年度)	6.2%	－	－	－	5.04% 以下
学校給食の残食率(中学校)	残食率の高さや栄養の観点から重点5項目とする品目の残食率 【出典：川崎市教育委員会調べ】 中学校(白米、変わり飯、豆類、野菜類、藻類)	白米	21.2% (R2(2020)年度)	18.7%	－	－	－	12.3% 以下
		変わり飯	13.3% (R2(2020)年度)	12.4%	－	－	－	9.24% 以下
		豆類	15.1% (R2(2020)年度)	15.4%	－	－	－	11.29% 以下
		野菜類	15.9% (R2(2020)年度)	14.0%	－	－	－	10.05% 以下
		藻類	17.2% (R2(2020)年度)	16.4%	－	－	－	11.08% 以下